



TITLE:

米國の萩原氏より來信

AUTHOR(S):

CITATION:

米國の萩原氏より來信. 天界 1928, 9(93): 83-83

ISSUE DATE:

1928-11-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161347>

RIGHT:

午後三時、廣島に下車。高等師範の學生に迎えられ、直ちに高等學校へ行き、集會所で YM の三校聯盟の諸君と懇談晚餐。七時から高等工業校の講堂で、主に學生のために天文講演をした。此の機に野村、鈴木、中原三教授に御目にかゝつた。此の夜十時、京都行の列車の寢臺に入る。

二十五日、歸洛して見れば、もはや同好會總會が近づいて來てゐる。フト、都ホテルへ電話をかけて見ると、米國から來遊してゐるクラム博士が既に神戸へ出張したといふので、大に残念に思ひ、早速、オリエンタルホテルへ電話をかけた。夜八時頃、幸ひ博士と電話が出來て、明朝こちらから往訪する約束をした。(クラム博士との會合は別頁記載の通り。)

米國の萩原氏より來信

東京天文臺の萩原助教はロツクフェラー研究生として米國ハーバード大學に研學するため、去る九月十五日横濱を出帆する President Taft 號で渡米されたが、同月24日、先づ初めての寄港地プクトリアに上陸、山本一清教授の照會狀を持つて、同地の有名な天文臺を訪問された由である、下記は同氏より山本教授へ送られた手紙の一部である。

山本先生

たゞ今、天文台を見て参りました。ハーバー博士に案内して頂きました。プラズケット台長は居られませんでした。ハーバー氏は「山本さんによるしく」と言つてゐられました。いろいろ御世話になりましたこと有り難う御座います。厚く御禮申します。

船は夜明けに着きましたので、朝食後、早々自働車で参りました。ちようどハーバー博士が出られたところなので、三十分ほど見せて頂きました。二時間足らずで全部をすませました。今十時ですが、これからすぐ出帆してシヤトルに向います。

何卒御大切に

萩 原 雄 祐

九月24日

ちなみに、同氏はハーバード大學の數學教授バーコフ氏(「天界」第85號第186頁にバーコフ氏來朝當時の記事あり)の所で、天體力學を研究せられる筈である。